（郵便信書認可）　（本號六面）　明治廿三年二月十七日　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

第二千五百六十八號
明治廿三年二月十七日　月曜日
舊暦己丑閏十二月廿八日（己巳）
日出午前六時二十八分　入午後五時四十三分
月出午前一時四十一分　入午後二時四十八分
滿潮午前三時十九分　干潮午後三時十九分
（西暦一千八百九十年）

時事新報定價
時事新報の一年三百六十五日一日も休刊セズ其代價遞送廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ郵送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	七日以上	一日廣告
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并ニ大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外ニ貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

商機眼前に在り

商人の商賣に從事するは猶ほ武人の戰場ニ臨むが如し武人の目的は敵に勝つに外あらずして商人の目的は利を得るに在り其目的とする所は各同じからずと雖も已を知り彼を知り機ニ臨み變を制し以て全勝利を收めんとするの心掛に於ては兩者ともに相違ある可らず左れば商人たるものは此心掛平生より肝要にして殊に今代の活潑なる社會に於て大に商利を攫せんとするには能く活社會の活事情に通じ日々時々の異事變化に應じ活潑自在に掛引して機を誤らざるの機轉あかる可らず蓋し我國の商賣は久しく封建鎖國の習慣に馴れしを以て老鋪暖簾その舊に安んじて日新改良の計を悅ばず偶ま活潑流の商賣を見れば目するに投機商の名を以てし深く其事情をも詳にせずして兎角ふれを擯斥するの風あきにあらず彼の身に一錢の貯もなく半厘の信用もあく商賣場裡に馳騁して萬一の僥倖を試み假令へ失敗するも元の無一物に歸するのみと憂悟して信用德義をも顧みざる當世の所謂才取流の輩に至りては固より之を忌み嫌ふ可しと雖も左ればとて今の活潑世界の商賣を以て一概ニ投機と見做して之を擯くるが如きは唯自から老朽、爲す能はざるの實を告白するに異あらず共ニ文明の商賣を解す可らざるあり扨その進退掛引の一段は人々の機轉に存する事にして他より云々す可きにあらず商人自身銘々の覺悟ふそ肝要あれども西洋諸國の商人が能く商機を誤らずして之に投ずるの機轉は我輩の常に感服する所にして其着眼注意の銳敏あるを以て我國商人の聲ヒあすに足る可きの事例は之を近來の新聞上に求むるも一ニして足らず昨年の佛國博覽會に彼の有名なる巴里のアイフェル塔は同國人の計畫する所にして同會六箇月の開期中ふれニ登臨したるものゝ數は數百萬の多きに超ス收入は六百五十萬フランに上り工費を償却して非常の利益ありしと云ふ又最近の報に據れば來る千八百九十二年（明治廿五年）米國に於ても大博覽會の催ほしに付き同國人は其開期を目當にアイフェル塔よりは一層高大なる塔を作らんとの計畫にて其金額も既に集まり開會の土地の定まり次第直に建築に着手する筈なりとぞ抑も商機あるものは天然人爲種々樣々の間に到來して容易に崛倪す可らずと雖も彼の博覽會の如きは世界萬國幾千萬の耳目を一點に集めて又ふれを四海六合に散ずるの機關なれば頗る稀なる彼國の商人等が之を利用して奇計妙策を運らし商賣の戰場に勝利を謀るは聞れあきに非ず即ち彼の高塔の如きも其計策中の一ニして佛人は既に功名手柄を成し米人は之に倣ふて更ニ規模を大ニし更に大に奇利を博せんとの目論見ある可し就て思ふニ本年は我國にても來る四月より東京に内國博覽會の開設あり元より一國内の事にして世界の耳目を集むると云ふにはあらざれども其時期は恰も艶陽の好季節にして左あきだに風物自から人を招くの候なるに近年は諸方の鐵道も通じて都鄙の交通非常の便利となりたれば此好機を幸に全國幾十百萬の人民は都下ニ輻輳する事ならん獨り是れのみならず評判高き帝國議會も愈々秋季を以て開會との事なれば是れ又四方の人を招くの一動機ニして瑛するに本年一杯は引續きて都下の繁昌知者疑ふ可からず其來業の中ニは遊覽の爲めにする者もある可し商賣の爲めにする者もあり又或は政治の爲めにする者もあらん其目的の心事は同じからざるも兎に角に全國幾十百萬の耳目を都下の一所に集むるの一事は事實にして此事實こそ即ち商人に取りて容易に望む可らざるの商機なれば決して此機を空ふす可らず東西の人情嗜好同一あらず我輩は敢て我東京府下にアイフェル塔の建築を勸むるものにあらずと雖も商人が商機を利して利を博するの心掛に至りては東西の差別ある可らず事は小あるに似たれども去年の二月憲法發布祭の時に提灯を仕入れて奇利を占めたる者あり國旗の注文に應ずる能はずして後悔したる者あり些細の商品にても着眼の明不明に由りて利を捕ふる者あり又逸す者あり利益は猶ほ飛ぶ鳥の如し之を獲るの巧拙は唯商人の機轉に在るのみ或は眼前の奇利を利せずして徐ろに永遠ニ志し本年の好機會に金を散じて他日の商機を期するが如きも亦一策ある可し射利の大小遠近その機既に眼前に在り知らず府下幾多の商人は果して此好機を空ふせざるや否や

雜報

○軍馬養成所長會議　今度陸軍省にては騎兵局附屬各軍馬養成所長を召集して近々會議を開く由なるが同局にては各養成所の成蹟を檢閲する爲め毎年定期軍馬點檢法を定めんとの計畫にて目下其取調中なりと

○裁判醫學に關する取調　山田司法大臣は今回法律上參考の爲め裁判醫學に關する件を片山醫科大學教授へ諮問せしを以て同教授は既に其復申に及びたりと

○セダン王國は英國の保護を乞はんとす　一昨年の夏頃安南王國と暹羅王國との間ある獨立土蕃の巢窟に進入し土人の歡心を得てセダン王國を創建し國王の位に即きてマリー一世と稱したる佛國人は昨年夫人と共に佛國に赴きセダン國を佛政府の保護地とあさんふとを請願したれども政府は之を辭したりしが當時露帝はセダン國を買ひ取るべしと申出し獨逸も亦同樣の申出をなしたれども國王は露帝を信用せず又ビスマーク侯と談判するを好まざるを以て此程倫敦に渡り英政府の保護地ともなさんとて奔走せりと云ふ

○英國皇太子米國に赴かんとす　確かなる筋より聞く所に據れば英國皇太子ウェールス親王は今春米國に遊ばんと企て太子の妃及び太子の第二子ヨーヨー親王も同行するものゝ如し之より先き侍醫は皇妃に向ひ養生の爲め航海をなすの利益あるを說きし事ありしが今回妃は流行感冒の爲ニ苦められしかば醫師は再び航海を勸め太子も亦保養の爲め大西洋の航海を試みんと欲し遂に米國行を思ひ立つに至りたれども時日に制限あるを以て紐育州及び加奈陀を遊歷するのみなるべしと倫敦一月二十日發の報に見ゆ

○山縣夫人の面會日　各大臣令夫人面會日の事は既ニ記載せしが山縣伯爵夫人の面會日は毎金曜日午後一時より四時まで定めたるよし

○大谷光瑩師　東本願寺法主大谷光瑩師は先頃家督相續を命ぜられしかば御禮として來る二十日頃上京するよし右に付府下各信徒は新に一幅の馬車を調製し同師を出迎へんとて目下其支度中なりと

○美山貫一氏　米國桑港福音會々長にして先年布哇國に渡航し我移住民の品行を矯正せんとし安藤總領事の贊成を得て同國ニ禁酒會を創立したる山口縣人美山貫一氏は去る十四日午後十一時横濱に着港したるシチーオヴ　ペキン號ニて歸朝したりと

○英葡兩國の葛藤　過日來の紙上に記載せし如く亞非利加事件に關して葡國政府は英國に一歩を讓り英政府の要求に應じて兵士を撤去するの約をなしたれば英國人民等は兩國の葛藤も局を結びたるあらんと信ずれども葡國人民は憤慨の情禁ずる能はず英國に對して敵意を表するのみあらず他國の公平ある裁判を仰ぎて自國の望を達せんとし露國新聞の如きは英國は此事件を他國の裁判に附せざる可からずと論せり

○寒季參謀旅行演習　は來月十七日より施行するよとに内決したるよし

○兩議院印刷所　目下内幸町ある帝國議會の後へ新築中なる議院附屬の印刷所は貴族衆議兩院の議案其他重要なるもの一切を印刷する筈にて諸器械類は大藏省印刷局の活版部にて使用のものを移し又職工等をも同部より廻す筈なりと

○名古屋市の收入役　愛知縣下名古屋市々參事會より其收入役候補者として渡邊喜兵衛、兼松眞、高松定一、東松兵衛、加藤達平の五氏を推薦したる所去る十三日の同市會に於ては兼松眞氏を同收入役に撰定したりと云ふ

○日本園藝會の寄附金　摂本文部大臣田中元老院議官は日本園藝會の設立を贊成し各金五十圓宛を寄附したりと

○山梨に對する信州蠶業者の覺悟　昨年信州の蠶業者が農商務大臣の特許を得て從來の干渉組合を解き更に自由組合の組織に變更しるがため山梨縣蠶絲業組合に於ては俄に一の法規を設け蠶種、繭、生絲等商賣の爲め信州より山梨縣下に入るものは總て其法規ニ遵ひ組合へ加盟せざるべからざるみとゝなしたるにぞ信州の蠶種行商は大に困難を感じ當時長野縣廳及び信濃蠶種組合等に於ては山梨縣に對し談判を開き又農商務省へ稟請したる事ありしも商業上の時機切迫のため充分本省へ事情を陳ぶを貫徹するみを蠶種組合が主唱合、蠶科中央蠶業會の如きは世界萬國幾千萬の耳目を一點に集めて又ふれを四海六合に散ずるの機關なれば頗る稀なる彼國の商人等が之を利用して奇計妙策を運らし商賣の戰場に勝利を謀るは聞れあきに非ず即ち彼の高塔の如きも其計策中の一ニして佛人は既に功名手柄を成し米人は之に倣ふて更ニ規模を大ニし更に大に奇利を博せんとの目論見ある可し就て思ふニ本年は我國にても來る四月より東京に内國博覽會の開設あり元より一國内の事にして世界の耳目を集むると云ふにはあらざれども其時期は恰も艶陽の好季節にして左あきだに風物自から人を招くの候なるに近年は諸方の鐵道も通じて都鄙の交通非常の便利となりたれば此好機を幸に全國幾十百萬の人民は都下ニ輻輳する事ならん獨り是れのみならず評判高き帝國議會も愈々秋季を以て開會との事なれば是れ又四方の人を招くの一動機ニして瑛するに本年一杯は引續きて都下の繁昌知者疑ふ可からず其來業の中ニは遊覽の爲めにする者もある可し商賣の爲めにする者もあり又或は政治の爲めにする者もあらん其目的の心事は同じからざるも兎に角に全國幾十百萬の耳目を都下の一所に集むるの一事は事實にして此事實こそ即ち商人に取りて容易に望む可らざるの商機なれば決して此機を空ふす可らず東西の人情嗜好同一あらず我輩は敢て我東京府下にアイフェル塔の建築を勸むるものにあらずと雖も商人が商機を利して利を博するの心掛に至りては東西の差別ある可らず事は小あるに似たれども去年の二月憲法發布祭の時に提灯を仕入れて奇利を占めたる者あり國旗の注文に應ずる能はずして後悔したる者あり些細の商品にても着眼の明不明に由りて利を捕ふる者あり又逸す者あり利益は猶ほ飛ぶ鳥の如し之を獲るの巧拙は唯商人の機轉に在るのみ或は眼前の奇利を利せずして徐ろに永遠ニ志し本年の好機會に金を散じて他日の商機を期するが如きも亦一策ある可し射利の大小遠近その機既に眼前に在り知らず府下幾多の商人は果して此好機を空ふせざるや否や

○裁判醫學に關する取調　山田司法大臣は今回法律上參考の爲め裁判醫學に關する件を片山醫科大學教授へ諮問せしを以て同教授は既に其復申に及びたりと

○セダン王國は英國の保護を乞はんとす　一昨年の夏頃安南王國と暹羅王國との間ある獨立土蕃の巢窟に進入し土人の歡心を得てセダン王國を創建し國王の位に即きてマリー一世と稱したる佛國人は昨年夫人と共に佛國に赴きセダン國を佛政府の保護地とあさんふとを請願したれども政府は之を辭したりしが當時露帝はセダン國を買ひ取るべしと申出し獨逸も亦同樣の申出

○愛知縣會市郡會　金收入の事其の撰定して頃ろ來るが爲め之を調切迫したり即も稅上多少の不穩改めて戶數を甘千有餘圓は自會但賦金を市郡各から不ず主張し額の多寡に付て共通の收入に改は云々と主張の樓上樓下に各和の運びに至らず關係は頗る切迫市部を歷し市部如きは全く縣會切迫して

○京都區會議員　都府知事は市長樓に招き市政會議員も同じく長が單に市會議ニ非ず難せしと北關係あれ區會議もの云ればは市政により別段招尚は一層激昂せんとまで決ス

○新聞記者の功　ば有名なる新聞の主筆ヤトロ以てする書狀を公決闘を挑み相ヴィッチ氏は

○内務大臣　地需用向きの不ある景況あり

○絹織物の輸出　益々評判よく

○北海道製麻會　文せし紡績并ニ

○新聞紙の得飽迄も從來

○山縣夫人の面會日の事は既ニ

○大谷光瑩師の面會日は毎金曜日午後一時より四時まで定めたるよし

○美山貫一氏の面會日の事は既ニ

○英葡兩國の葛藤の事は既ニ

○名古屋市の收入役の事は既ニ

○日本園藝會の寄附金の事は既ニ

○山梨に對する信州蠶業者の覺悟の事は既ニ

○裁判醫學に關する取調の事は既ニ

○セダン王國の事は既ニ

○愛知縣會市郡會の事は既ニ

○京都區會議員の事は既ニ

○新聞紙の休刊日の事は既ニ

○内務大臣の事は既ニ

○絹織物の輸出の事は既ニ

○北海道製麻會の事は既ニ